

「ぞめき」の時空間と如来教

—近世後期の救済論的転回

宗 教

いしはら やまと
石原 和著

▼A5判・上製カバー・370頁・本体四、五〇〇〇円十税

2020年8月刊行



一九世紀を迎える頃、日本宗教史上の大転換が起こった。騒々しくも賑わう「ぞめき」の名古屋を舞台に、如来教、真宗、民間信仰の枠を超えて「身体」から「心」へと、救済論が質的転回を遂げたことを明らかにする。

【目次】

序 章

第一部 一八〇〇年前後の救済課題と如来教

第一章 一八〇〇年前後における救済の動揺
—三業惑乱と如来教—

第二章 名古屋城下の真宗異安心と如来教
—尾州五人男をめぐる—

第三章 「渴仰の貴賤」と如来教
—作善実践に向き合う—

第二部 一八〇〇年前後名古屋の宗教環境と如来教世界の形成

環境と如来教世界の形成

第一章 如来教世界の形成過程と秋葉信仰

第二章 如来教説教の想像力としての近世親鸞伝

第三章 文政地震と如来教

結 章 本稿の成果と課題・展望

初出一覧

あとがき

◆著者略歴

一九八八年愛知県生まれ。二〇一二年立命館大学文学部人文学科日本史学専攻卒業、二〇一二年同大学大学院文学研究科日本史学専修博士課程前期課程修了、二〇一七年同大学大学院文学研究科日本史学専修博士課程後期課程修了。博士(文学・立命館大学)。現在、国立民族学博物館人類基礎理論研究部プロジェクト研究員(二〇一七年)、立命館大学授業担当講師(二〇一八年)。本書取載論文の他、主要な論文に「一九二〇年代後半における『如来教』の『創出』—石橋智信の研究から」(桂島宣弘編『東アジア遭遇する知と日本』文理閣、二〇一九年)、「民衆宗教」(『日本宗教史のキーワード』近代主義を超えて『慶應義塾大学出版会、二〇一八年)、など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
石原 和著	
法藏館 本体四、五〇〇〇円十税	
「ぞめき」の時空間と如来教 —近世後期の救済論的転回—	
ISBN: 978-4-8318-6264-8 C3015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp